

平成30年 2月 1日

神奈川歯科大学同窓会  
選挙管理委員会  
委員長 田中 直人殿

## 立候補届

会長・監事 立候補

(どちらかに○を付けてください)

立候補者名 下池敏之



印

生年月日： 昭和 26 年 11 月 25 日 生

住所：

奈良県奈良市右京 3-7-12

診療所所在地及び名称：

下池歯科医院  
大阪府東大阪市足代新町 24-21

略歴：

同窓会

平成3年4月1日～平成12年3月31日迄：本部代議員  
平成9年4月1日～平成12年3月31日迄：大阪府支部 支部長  
平成12年4月1日～平成15年3月31日迄：本部副会長  
平成18年4月1日～平成27年3月31日迄：本部副会長

歯科医師会

平成3年4月～平成25年3月 大阪府歯科医師会調査部部員  
平成5年4月～平成25年3月 大阪府歯科医師会医事法制部 常任部員  
平成5年4月～平成13年3月 東大阪市西歯科医師会常務理事  
平成17年4月～19年3月 大阪府歯科医師会医業管理部 常任部員  
平成25年4月～現在 一般社団法人東大阪市西歯科医師会 副会長  
平成27年4月～現在 一般社団法人大阪府歯科医師会 代議員

2018年2月1日 10:45後

## 立候補趣意書

立候補者 大阪府支部 8 回生 下池敏之

「同窓会・母校に誇りと輝きそして希望を！！」  
私は、これを目指し同窓会の運営に邁進いたします。

本部同窓会には代議員及び副会長として 24 年間関り、時代の変遷と本部同窓会の置かれる環境変化を身近に肌感覚で感じ取ってきました。

現在、この変化に順応せずに放散的事業計画や代議員制度の本質を見誤る方向性を散見するにあたり、トップが変わる必要を強く認識し「同窓会会長に立候補すべき」と強く意識いたしました。

「変わらなければいけない」否「変えなければいけない」、連綿と同窓会を存続させるためには！！

如何に現況に即した『同窓会』を構築すべきか、その処方箋の端緒は制度疲労を起こしている現システムを再構築する事であろう。

「今」の状況の的確な認識と分析から「未来」を見据える。

そして、会長として「熱意」・「牽引力」・「施策」・「発想力」を堅持し、活動の収斂先が同窓会会員各位に資するか否か、常に執行部役員共々自問自答しながら邁進する所存である。

文字数制約のある趣意書では、変化させうる具体的処方箋を書き連ねることが叶わないですが、基本軸はヒューマン・ファクターをベースにした「本部」・「支部」との今以上の有機的機能結合、副会長の更なる実務的機能強化、更には今の学生・新入学生を含めて裾野を広くしての一体的活動等々。

関東圏以外からの「会長」選出に対して、経費圧迫を懸念されることは「然り」であろうが、現在までが関東圏からの会長選出でのシステムで構築されています。

今回、緊急避難的に私を支持して頂く幾つかの支部等において、基金を設立し「圧迫」に対するサポート体制はすでに整っており、現実に年間の必要経費は会計報告にて詳らかにし、現行システムの変更・工夫等により全国の「志ある者」に「基金」を常態化させないシステム構築を目指し、「閉ざされない」事実を示せるはずである。

健全な組織においては、門戸は常に広く開かれているものであ。

